

9月号パラパニュース

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟

事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2-4F

電話：03-6229-5423、FAX：03-6229-5420

メール：jppf.jimu@gmail.com

ホームページ：<http://jppf.jp/>

□ スター誕生！



パラ・パワーのトップ選手たちは、十年以上のキャリアがあり、5年未満で全日本のトップに立った選手は数少ないです。そのため、即戦力、と言う目ではなく、2024年パリパラリンピック、2028年ロスパラリンピックで活躍できる選手を探そう、と言う視点で皆さんのテストを見守っています。ちなみに、愛知で3人、京都で2人の選手を連盟としては、指名しましたが、本人がどの競技がしたいのか、と言うところが重要で、まだ、スター誕生、とまでは至っていません。残念ですが、パラ・パワー希望！という選手はとても少ないです。また、ここで選ばれた選手は、11月に、最終テストと言うのがあって、スター誕生の道を歩き始めることができる、と言う、システムになっています。

「見てろよ、自分！」そんな選手の発掘をぜひ、期待したいところです。

J-スタープロジェクトが始まりました。スポーツ庁の方針で、全国津々浦々に眠っている、未来のスポーツ界を背負う選手を探せ、と言う、プロジェクトで、日本体育協会が中心になって、全国各地で、スターの発掘事業です。事業は、一般的体力測定、それと、専門種目です。パラ・パワーの専門種目測定としては、メディスンボール投げをしてもらっています。現在のベンチプレスのと、メディスンボール投げの距離は、ほぼ、比例しています。

既に仙台会場、愛知会場、京都会場が終わり、9月に入って、横浜会場、福岡会場があります。プロジェクトは、「東京」の即戦力を探せ！というのですが、

□ 職場で応援！



パラリンピックサポートセンターの事務所の壁に、こんなにかわいらしい応援メッセージが現れました。どの職場でも同じだと思いますが、職場仲間の活躍は、仕事の現場を活気づけてくれます。

□ ラーマン余波



BS日本テレビは、ストロングポイントと言う番組を製作しており、様々な競技で活躍する選手の強みは何かを掘り下げる番組を作っています。その番組取材をうけたものの、ラーマンの強みまで深く入って、取材をすることが難しく、世界チャンピオン、世界記録保持者のイランのシアマンド・ラーマンが日本にやって来ました、という、紹介にとどまりました。

連盟にとって大きな収穫は、このとき撮影した超スロームービーを受け取れた事。門外不出であることを約束させられましたが、合宿では使用可、と言うことでしたので、合宿所で映像分析、連盟選手の強化につなげられるよう、利用させていただきます。

もう一つの波紋は、ラーマンが健常者のノーギアの世界記録を大きく上回っている、と言う、事実に着目した、筋肉研究の第一人者、石井直方先生や脳神経専門の中澤教授の注目を浴びたこと。石井先生は、筋肉は組成も強度も、健常者も障がい者も変わらないはず、と、言っています。それでは、何が違うのか、と言う仮設で、「脳から筋肉に伝わる命令の強さ、筋肉に指令を出すときに、脳の働く分野が健常者よりも広いのではないか」というもの。

それが、事実かどうか。ある日、大学の研究室で、パラアスリートと健常者の世界チャンピオン、まだ全日本にいけない選手を測定。結果は？

